

平成30年度 WAM助成シンポジウム

多様な連携のカタチ

持続可能な福祉社会を目指して

今、私たちは、複雑化した福祉課題に直面しています。その解決には、制度と民間福祉活動が密に連動した地域のセーフティネットの構築が求められています。本シンポジウムでは、NPOが行政や企業、個人等、さまざまな主体のネットワークを構築しながら取り組まれた事例とともに、持続可能な福祉社会への道のりを考えます。

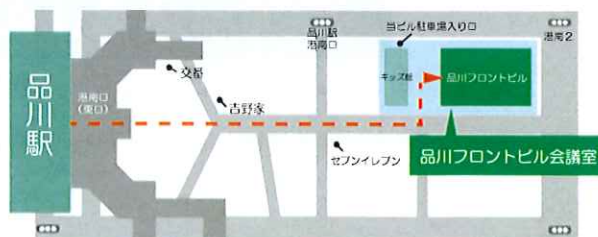
平成30年 **9月27日** (木)

13:30～16:50 (13:00開場)

会場：**品川フロントビル会議室**
(東京都港区港南2-3-13 地下1階)

定員：**200名** (定員になり次第×切)
NPO等の民間福祉活動に携わる方
NPOの活動に関心のある方
行政担当者・企業など広く一般

参加費：**無料**



JR線・京急線「品川駅」港南口より徒歩**3分**

主催：独立行政法人福祉医療機構 NPOリソースセンター

【お問い合わせ】 〒105-8486 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル9F
TEL：03-3438-9942 ホームページ：<http://www.wam.go.jp/hp/>

当機構のホームページまたは裏面のFAX申込用紙からお申し込みください。



WAM助成

検索

組織の境界を越えた 福祉活動のカタチとは？

13:00～13:30	受付	
13:30～13:40	開会	主催者あいさつ
13:40～14:15	基調講演	持続可能な福祉社会への道 ～制度と福祉活動に期待すること～ 広井 良典 さん 京都大学 ころの未来研究センター 教授
14:20～16:50	パネルディスカッション	ファシリテーター 長浜 洋二 さん モジョコンサルティング合同会社 代表 地域における協働推進や事業戦略の構築支援の経験から、報告を聞く視点を整理します
	・視点の提示	
	・成果報告	
	I. 行政・医療機関との連携	I 特定非営利活動法人ミーネット 理事長 花井 美紀 さん いまの最善を超える新たな視点を共有する 2004年、がん体験者や家族が所属する当事者団体としてミーネットを設立。がん患者・家族と同じ立場で相談支援にあたる「がんのピアサポーター」を養成し、地域に根差した活動に取り組む。2009年より名古屋市の委託を受け「がん相談情報サロン・ピアネット」を運営する。WAM助成では、高齢がん患者ピアサポーターの養成とともに、地域の医療・福祉分野の専門職との連携協力体制を構築し、高齢がん患者のよりよい在宅療養生活への移行を支援。現在、県内16のがん診療連携拠点病院において「院内ピアサポート活動」を展開中。
	II. 支援団体・個人との連携	II 特定非営利活動法人キッズドア 理事長 渡辺 由美子 さん 周知も政策提言も、みんなで声をあげていく 2007年、「すべての子どもが夢や希望をもてる社会の実現」を目指し、任意団体を発足（09年法人設立）。親の経済力の差による教育格差の解消のための先進的な教育支援活動を展開。WAM助成では、支援団体ネットワークを強化することで、課題や必要な支援を共有し、社会へ発信するイベントを開催したほか、ひとり親家庭に対する児童扶養手当の複数加算の増額を目指した「ひとり親を救え！プロジェクト」を実施し、支援団体や個人に賛同を呼び掛けた。
	III. 企業・地域組織との連携	III 特定非営利活動法人暮らしづくりネットワーク北芝 尼野 千絵 さん 地域で暮らし続けるために、地域とつながる 2001年、「誰もが安心して暮らせるまちをつくりたい」という地域住民の想いを共有し、知恵を出し合う「暮らしづくり」の協働活動に取り組むことを目的に設立。WAM助成では、生きづらさを抱える若者や地域住民の誰もが立ち寄り、困りごとを持ち込める社会的居場所の運営のほか、見えにくい生きづらさを抱える若者への理解を深める学習会や、地域住民との食事会を継続的に催し、企業や学校等との横断的な支え合いネットワークを構築。
	・ディスカッション	
	連携の取り組みについて知見を深めます	
	・まとめ	
16:50	閉会	



参加申込書(FAX用：03-3438-0218)

FAXでお申し込みの場合は、以下に必要事項をご記入の上、当機構あてにご送信ください。

※ご提出いただきました顧客情報は、本シンポジウムの運営に必要な連絡等のために使用し、それ以外の目的では使用いたしません。

ふりがな
氏名

申込者計 名 所属

〒
住所

電話 () - E-mail

※手話、要約筆記、点字資料等を希望される場合は、9月14日（金）までにお問合せください。申込〆切：9月26日（水）まで